

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年8月18日

## 高木技商

大型トラックのメンテナンスを手掛ける高木技商は2016年に創業。他社が断るような難しい依頼も積極的に受け入れ、業容を拡大してきた。2021年12月には愛西市で新工場を稼働。持続的な成長に向け、基盤整備を進める代表の高木義和氏に話を聞いた。

### Company Data

社名：高木技商  
代表者：高木 義和  
住所：愛西市鰯江町郷裏 91-1  
電話：090-5008-6527  
紹介金融機関：中日信用金庫



### トラックの点検需要に着目して起業を決断

私は岐阜県の高山自動車短期大学を卒業し、整備士として自動車ディーラーに入社しました。日々仕事に追われる中で独立意識が芽生え、トラックの整備で起業することを決断しました。乗用車に比べて使用頻度が高いトラックは、3カ月点検など定期的な整備需要が見込めると判断したからです。トラックへの理解を深めるため、長距離トラックの運転手へと転身もしました。その後、トラックの整備工場に勤務し、2016年に独立しました。



起業当初は顧客先に出張するスタイルで、オイル交換などの軽作業からスタートしました。徐々に依頼が増えたため、一宮市に車両の整備や点検を行う認証工場を建設することにしました。

トラックは3カ月ごとの法令点検が求められていますが、点検を行う業者は人手不足や働き方改革等で受け入れる余力がなくなり、外部に委託する動きが増えました。当社はその需要をうまく取り込むことで、受注を増やしてきました。当社のお客さまは大手建機レンタル業者や大手ディーラー、地元の運送会社などで、点検台数は月に100台前後にのぼります。

## プロとして「できない」とは言わない

当社の強みは、他社が敬遠する整備も積極的に引き受けることです。プロとして「できない」とは言いたくありません。当社ではエンジンや外装の修理、車検など、なんでも引き受けます。また、トラックだけでなく、建設機械や農業機械の修理などにも対応しています。

過去には廃車寸前の車が入庫したこともあります。リース契約のため、廃車にすると多額の損失が発生するというので、当社に依頼をいただきました。難しい依頼でしたが、なんとか期待に応えることができました。また、料金も他社より安価だと思います。料金は作業時間に比例する部分もあるため、技術力と作業効率の高さゆえ、費用を抑えられていると自負しています。

創業当初はお客さまが少なく、資金繰りに課題がありましたが、昼は整備に汗を流し、夜はトラックのハンドルを握ることで、運転資金を確保していました。また、人材の確保も当社にとっての課題でした。愛知県は製造業が盛んであり給与水準が高い企業が多く、どうしても人材がそういった企業に流れてしまうため、働きがいのある給与体系にすることで、人材を確保したいと考えました。当社は、未経験でも高めの給与を払っていますが、これは将来への投資と考えて、未経験でも一人前に育て上げる覚悟で挑んでいます。

## 将来を見据えた設備の新工場

当社の転機は、昨年12月に愛西市に新工場をオープンしたことです。中小企業の新分野展開を支援する国の「事業再構築補助金」に採択されたことで実現しました。

新工場は、車検を内製化できる指定整備工場で、となったことから、大型トラックやトレーラーも整備できるようになりました。さらに、トラックのEV（電気自動車）化や自動運転の普及を見据え、「電子制御装置整備」に対応した工場になっています。この工場が当社の未来を担っていると言っても過言ではないほど、充実した設備を誇っています。

## トラックの売買から農業まで、未来に向けて日々精進

今後の持続的な成長に向け、新規事業も検討しています。一つは、トラックの中古車売買です。仕入れて売るだけでなく、トラックを新車レベルまで整備して販売することを想定しています。5年後をめどにスタートさせる計画です。また、農業に参入する青写真も描いています。環境に優しいバイオディーゼル燃料の普及に貢献できる作物の栽培に取り組みたいと考えています。



私が大切にしている言葉は、日々精進です。毎日新たな気持ちで、お客さまや技術に向き合っていきたいと思います。自動車業界は日々変化し、成長を続けています。当社も、持ち込み部品による修理依頼の対応など、フットワークの軽さで、お客さまの希望どおりに作業を行っていききたいと思います。